



長泉町立北中学校だより

さみどり

令和6年度 学校だより「早緑」 新年号

○学校教育目標 「友愛・挑戦・感動」

爽やかな挨拶・自ら夢や目標に向かう・努力でつながる仲間・凛々しい北中生

○経営理念 「大切な私とあなた」 自尊感情・他尊感情の育成

○学校経営目標 「創立50周年！感謝と希望が溢れる学校！」

～「チーム北中」による温かい学校づくりの推進

○指導の重点「主体的に **T** (時を守り) **P** (場を清め) **R** (人を敬う)」

北中の **R** → あいさつ・ありがとう・あたたかい言葉

早緑



2025年もよろしくお祈いします！

今年度最後のテーマは「感謝と進路」



新たな年を迎え、保護者や地域の皆様におかれましては、御清祥のこととお慶び申し上げます。今朝、冬休みを終えた生徒たちが北中校舎に戻ってきました。生徒たちの声が聞こえてくると、一瞬で校舎内の気温がぽっと上がるような気がするの不思議です。

今日から始まる第4ステージのテーマは「感謝と進路」です。12月末の放送集会では、3年生には「自分の進路・目標に向かってこつこつ努力を続け、お互いに励まし合って、受検や進路に向かってください」と伝えました。1・2年生には、「3年生を応援しながらも、みなさん自身のこれからの道を考え、自分に必要な取組をスタートする機会にしてください」と伝えました。



元旦の青空と北中校舎



さて、「夢」「進路」という言葉を考えると、私が中学生の時の1学年上の他校の先輩を思い出します。その先輩はバスケットボールで圧倒的なスピードを生かしたシュートやドリブルが魅力の選手でした。私が進んだ高校は当時、県でもバスケットボールが強い学校で、その先輩も私が進学した高校に在籍していました。先輩はもちろんバスケット部員でしたが、いつも部員の柔軟運動のサポートや練習メニューの管理等をしており、いっさい練習には参加していませんでした。前年に大きな怪我をしてしまい、選手としての復帰は叶わなかったのです。ただ、選手の技能を問わず、誰に対しても、その選手が望む練習のサポートを一生懸命やっているのが印象的でした。私がロングシュートの練習を見てくださると依頼すると、部活終了後に100本入るまでパス出しをしてくれました。当時、先輩が「バスケットボールにずっと関わっていきたい」という夢を話してくれたのを覚えています。私は、(プレイしていないのに、職業としてバスケットに関わっていくなんて難しいだろうな)と、先輩の夢の力を甘く見ていました。

あれから40年。現在、日本にはBリーグというプロバスケットリーグが生まれ、静岡県にもBリーグ2部に所属するチームが奮闘しています。昨年、私はそのチームに興味を持ち、ホームページで選手紹介を眺めていました。続いてコーチ陣の紹介欄を読みました。すると懐かしいその先輩の名前がコーチ陣の中にありました。バスケットの実技経験は中学校で完全にストップしながらも、ひたすら選手のフォローやコンテイングを学んでいた先輩。先輩の優しくも鋭い眼光は、昔と全く変わっていませんでした。

今朝の全校集会では、生徒たちにこの先輩の話をしました。夢は叶えてこそ夢ということ言いたいわけではありません。夢に向かって1日1日自分のできることに取り組んでいく…本校の生徒たちには、そんな生き方をして人生を豊かにしてほしいという気持ちで話しました。

今年も、北中学校の生徒たちと教育活動への温かな応援をよろしくお祈いします。

長泉町立北中学校長 小林 浩之